

株式会社DeNAライフサイエンス
第二回倫理審査委員会 議事要旨

日時：2014年7月17日（木）13：30－15：30

場所：株式会社DeNAライフサイエンス 本社会議室

出席者：委員長 長村 文孝（外部委員）

委員 渡邊 淳（外部委員）

委員 津田 大介（外部委員）

委員 横野 恵（外部委員）

委員 城戸 忠之

議事の概要：以下のとおり

1. 報告事項－委員の着任と離任

渡邊淳委員、渡辺武経委員の着任と、大井潤委員の離任について報告がなされた。

2. 審議事項(1)－各種申請書の様式について

事務局から、各資料の用途と記載項目について説明したところ、委員からの本審議事項に対する質問は無く、外部環境の変化に伴って適宜見直すことを前提として、各申請書の雛形を承認することが全委員の間で確認された。

3. 審議事項(2)－（株）DeNA ライフサイエンスにおける個人遺伝情報の取扱いについて

事務局から、前回（第一回）の倫理審査委員会の指摘事項を反映した事業計画について説明したところ、質疑、応答等があった後、本委員会として、本事業計画については、決定的に問題のある部分はないと判断した上で、事業計画書の内容を一部具体化すること、同意書付属説明書、重要事項確認書の事業分野の内容をわかり易い表現に見直すことについて本委員会の意見とすることが全委員の間で確認された。また、修正内容について委員で回覧の後承認の可否を判断することが確認された。

4. 審議事項(3)－（株）DeNA ライフサイエンスにおける研究について

①「ヘルスビッグデータを用いた健康長寿社会の実現を目的とした研究」について
事務局から、前回（第一回）の倫理審査委員会の指摘事項を反映した研究計画について説明したところ、質疑、応答等があった後、本委員会として、該当研究計画については、決定的に問題のある部分はないと判断した上で、研究計画書の表現を一部修正すること、重要事項確認書の研究分野の内容をわかり易い表現に見直すことについて本委員会の意見とすることが全委員の間で確認された。また、修正内容について委員で回覧の後承認の可否を判断することが確認された。

②「日本人 DNA 多型データを用いた「日本人のための疾病リスク予測モデルの研究」について
（東京大学医科学研究所との共同研究）

事務局から、計画について説明したところ、質疑、応答等があった後、本委員会として、該当研究計画につ

いては、決定的に問題のある部分はないと判断し、研究計画書に修正の必要が無いこと、付属文書については上記審議事項(3)の①で確認された内容が修整されることで充足されることが確認された。

5. 非公開措置に関する決定

長村委員長から、本日の議事のうち、個人情報、知的財産、セキュリティに関する事項等は秘匿性が高いため、非公開としたい旨を全委員に諮り、全員異議なくこれを承諾した。

※質疑応答等の具体的内容に関しては、提供者等の人権、研究の独創性、知的財産権の保護、競争上の地位の保全に支障が生じるおそれがあるので、倫理審査委員会規程（事業分野）第9条及び倫理審査委員会規程（研究分野）第9条に基づき、5の決定に従い非公開とする。

以 上